

## 東北大学ディスカッションツアーを実施しました（2015/3/17）

テーマ：国連防災世界会議

場所：東北大学災害科学国際研究所

3月17日（火）に、第3回国連防災世界会議のスタディーツアーの一環として、東北大学ディスカッションツアーを実施し、国連防災世界会議に出席している約20名の海外からの参加者に対して、災害科学国際研究所の最新の研究成果や研究設備を紹介しました。まず、今村文彦教授（所長、災害リスク研究部門）の挨拶があり、続いて奥村誠教授（副所長、人間・社会対応研究部門）から研究所設立の趣旨と経緯についての説明があり、村尾修教授（所長補佐、地域・都市再生研究部門）からは建物や設備および当日の展示内容に関する説明がありました。続いて、下記の6種類の研究成果や設備の紹介があり、参加者から多くのご質問や賛辞を頂きました。

○災害科学情報の多次元統合可視化システム：寺田賢二郎教授（地域・都市再生研究部門）

○多主体ゲーミングシミュレーションシステム：奥村誠教授，ダス ルーベル助教

（人間・社会対応研究部門）

○2011年東日本大震災から見えてきたこと：村尾修教授（地域・都市再生研究部門）

○減災「結」プロジェクト：保田真理助手（災害リスク研究部門）

○4Kマルチモニター：柴山明寛准教授（情報管理・社会連携部門）

○地震体験機：野内類助教（人間・社会対応研究部門）

時間の制約上、研究所の細部までを紹介することはできませんでしたが、各国の方に災害科学国際研究所の考え方や研究内容を知って頂く良い機会となりました。



研究所の紹介の様子



展示スペースの様子



展示物を確認する参加者



災害科学国際研究所棟前での記念写真